

子どものための狂言体験講座

くちまね

—「しびり」「口真似」に挑戦！—

感受性豊かな子どもたちと伝統芸能との出会い

狂言師・茂山千三郎が演出します

「狂言」を通じて 日本の伝統を身近に感じてもらうための体験講座です

- 開講日時 ①5月13日(土) 18:00~20:00 (受付・開場 17:45)
②5月21日(日) 18:00~20:00 (受付・開場 17:45)
③6月3日(土) 18:00~20:00 (受付・開場 17:45)
④6月18日(日) 18:00~20:00 (受付・開場 17:45)
- 開講場所 茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)2階・多目的ホール
- 発表 6月24日(土) 11:00開場/11:15開演/12:15終演予定
クリエイトセンター・センターホール/入場無料
- 講師 大蔵流狂言師 茂山千三郎/大蔵流狂言師 鈴木 実
- 対象・定員 小学生20人。講座から発表まで5回通しで参加できる方。保護者同伴でご参加ください。
- 受講料 1,000円(通し)
- 準備物 動きやすい服装で、足袋または靴下を着用してご参加ください。また、録音機器をご持参いただくと次回までの復習に便利です。
- お申込み 茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055(クリエイトセンター1階9:00~17:00)
3月9日(木)9:00から電話にて先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります。
- 備考 1) 講座の様子は主催者により撮影し、情報誌、ホームページ、フェイスブック等において公開される場合がありますので予めご了承ください。
2) 6月24日の発表は公開で行います。どなた様もご入場いただけます。無料、事前申し込み不要です。

■主催：(公財)茨木市文化振興財団 ■後援：茨木商工会議所/茨木市観光協会



茂山千三郎さんと28年度講座受講生の皆さん(発表の終わりに)

【講座内容】

- ① 5月13日(土) 18:00~20:00 基礎講習 狂言の発声・構え・歩行から、簡単な部分稽古
セリフ稽古 しびり組、口真似組に分かれ、分担してセリフを覚えます
*宿題として「セリフを覚えて来よう！」
- ② 5月21日(日) 18:00~20:00 セリフのおさらい、動き稽古
- ③ 6月 3日(土) 18:00~20:00 セリフのおさらい、動き稽古
- ④ 6月18日(日) 18:00~20:00 狂言「しびり」「口真似」の完成、衣装合わせ
- ⑤ 6月24日(土) 11:15~12:15 4回の講座で分担して覚えたセリフ、動きを、クリエイトセンター・センター
ホールの舞台上で発表し、受講生みんなで狂言「しびり」「口真似」を上演して
いただきます。

※録音機器をご持参いただくと次回までの復習に便利です。

◆狂言「しびり」

登場人物/太郎冠者(シテ)、主人(アド) 上演時間/約15分

堺へ使いにいくよう命じられた太郎冠者は、痺れがおこって歩けないと嘘をつきます。仮病を見抜いた主人は、せっかく伯父から振る舞いによばれたが、病気ならば連れていけないと言って、太郎冠者をだまします。さて、太郎冠者がとった行動とは…。

◆狂言「口真似」(くちまね)

登場人物/太郎冠者(シテ)、主人(アド)、客人(アド) 上演時間/約20分

主人はあるところから酒をもらったので、誰か相手になる人を呼んで来いと太郎冠者にいつけました。太郎冠者は思いついた人を訪ね、「ご主人とは交際がないから」と言うのを無理に連れてきます。主人が陰から見ると、有名な酒乱の人物なのですが、無理に連れて来た手前穩やかに帰そうと考え、太郎冠者に自分の言うとおりに行動するようと言いつけます。太郎冠者は主人のものまねをすればよいのだと勘違いをし、一挙一動主人のものまねをするので、怒った主人が太郎冠者を打ち倒します。太郎冠者の愚かな勘違いを題材にした単純明快な作品です。



茂山千三郎(しげやませんざぶろう)

1964年9月4日、十二世茂山千五郎の三男として生まれる。自主公演の花形狂言会やTOPPA!を主宰し、古典狂言の魅力をアピールする。その反面、FM京都のパーソナリティを14年勤め、京都市交響楽団や立川志の輔、夏川りみ、藪内佐斗司らともコラボし、古典の枠にとらわれない活動を展開。『だんご髻』、『都わたり』など、新作狂言の脚本も手掛け、中でも『流れ星-X』は愛・地球博その他で発表し、各地エコロジー団体より上演の要請を受ける。近年では團伊玖磨作曲のオペラ『ちゃんちき』を演出し、UFJ信託銀行奨励賞受賞。著書に集英社新書『世にもおもしろい狂言』がある。

鈴木実(すずきみのる)

1978年7月10日、東京に生まれる。2002年に「café 1036 east」(東京・茂山千三郎社中)で狂言の稽古を始め、2006年に千三郎の元に正式入門する。それまでは、大学在籍中より演劇活動を始め、関東を中心に役者・モデルとして活動していたが、狂言の魅力に取り憑かれ狂言師を目指す事を決意。同年、インド・ニューデリー日本文化センター開所式記念公演に参加。『棒縛り』にて初舞台。2007年、京都能楽養成会入会。2011年より、同門の島田洋海、増田浩紀、井口竜也、山下守之らと狂言「五笑会(ごしょうかい)」を結成。年4回、京都府立芸術会館にて狂言会を催す。2013年、京都能楽養成会卒業。日本能楽協会入会。同年4月に独立。11月に独立披露狂言を開催。日本能楽協会会員。



狂言鑑賞会(体験講座発表会終了後、茂山千五郎家による狂言公演を予定しています)

- 6月24日(土) 13:15開演(12:45開場/14:30終演予定)
- クリエイトセンター・センターホール(販売は1階席306席のみ)
- 番組 解説「柿山伏 かきやまぶし」「附子 ぶす」
- 出演 茂山千三郎 ほか
- チケット/4月12日(水) 9:00予約開始(初日は電話、インターネットのみ)
- [全席指定]一般 1,500円/青少年(24歳以下) 1,000円 *就学前のお子様はご遠慮ください。
- 体験講座受講生500円、受講生1人につき保護者1人は1,000円
- お申込み・お問合せ
(公財) 茨木市文化振興財団・文化事業係072-625-3055 (9:00~17:00)

